

2019(令和元)年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

担当部署	文化会館	生涯学習課	
------	------	-------	--

基本目標	2 みんなで“学び育む”～次代と豊かな心を育むまちづくり～
施策	9 文化・芸術

施策の方向・内容		具体的な事業内容
1	次世代へつなぐ文化の創造	(文化会館) 歌舞伎・落語・狂言・コンサートなどの伝統芸能を中心とした舞台芸術や文化講演を実施していくことに加え、児童・生徒へも鑑賞する機会を設けるために学生券(低料金)を発行し、保護者へ情報を発信していく。また、今年度は町内で活躍する団体や他の行政機関とともに展開していく事業で文化の高揚に繋げていく。
2	地域文化の担い手の発掘と仕組みづくり	(文化会館) 地元で活躍するアーティストを発掘するために住民活動支援センター「ぶらねっと扶桑」と情報を共有したり、アーティストが演奏できる場の提供を増やせるよう広報紙やホームページ・各種総会等で啓発活動を行い、アーティストと各種団体との橋渡しを行っていく。
3	文化・芸術活動への支援体制	(文化会館) ふそう文化会館夢応援団員のスキルアップのために毎月会議を開催し、団員相互のコミュニケーションを図ったり、事業内容を周知したり、研修する場を設ける。また、団員数増加のために広報紙やホームページ・フェイスブック・ケーブルテレビを活用して情報を発信していく。
4	文化財の保護と活用	(生涯学習課・公民館) 文化財保護事業を展開し、文化財等への理解を深めていただくため、展示活動を実施する。また、郷土の文化財を良好な状態で次世代へ継承するため、維持管理に伴う支援を実施する。さらに、文化財保護審議会を開催し、文化財の管理者との連携を図り、文化財の活用を推進する。
5		
6		

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値					
		目標値(R04)	H30年度	R元年度	R02年度	R03年度	R04年度	
1 文化会館でボランティアに携わる人数	扶桑文化会館催事に参加する、ふそう文化会館夢応援団及び友の会の人数(人)	37 42	38 ○	年間ひとり以上の増加を目標としており、達成しているものとする				
2								
3								
4								

前年度の評価を踏まえた今年度の課題
1) 幅広い年齢層の方に入場いただける公演を企画すること。 2) 登録アーティストの活躍の場を数多く提供していくこと。 3) ボランティアに携わる人々の高齢化により団員が減少傾向にある中、加入率を増やすこと。 4) 文化財等の管理を適切に維持し、また展示を行うことにより、町民の方への認識や理解を深める。

前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針
1) アンケート等の意見も取り入れ企画決定をしていく。 2) 会館全体のPRを強化していく。 3) ボランティア同士の交流やスキルアップのための研修会を実施する。 4) 中央公民館で、文化財等の展示を行っていることをPRし、文化財等に触れる機会を設ける。